

マイナンバーカードで、 「もしも」の時の避難が変わる。

～デジタル技術で「待たない」「書かない」避難所へ～

4つのグループで「受付の速さ」を比較

Group

1

【マイナンバーカードに 記載した個人ID活用】

瀬戸内町内の避難所などにおける
避難者の迅速かつ正確な
情報管理と、個別ニーズに
応じた適切な支援を提供。



マイナンバーカードを端末にかざすことで個人IDを読み取り、
町が事前に管理している個人情報や医療情報を避難者名簿に
自動連携・即反映できる。

Group

2

【マイナンバーカードや 免許証の券面情報を活用】

瀬戸内町内の避難所におい
て、
効率的かつ正確に個人情報
を取得・登録。



マイナンバーカードや免許証を差し込むことで
券面情報を読み取り。
券面情報以外の個別ニーズについては手動入力を行う。

Group

3

【身分証がない場合① 紙に記載後、データ入力】

瀬戸内町内の避難所において、身分証明書を持っていない
場合は、受付にて情報を聞き取り、紙に記入したのち、
データ入力を行う。従来の避難所受付方式。

Group

4

【身分証がない場合② 聞き取って直接データ入力】

瀬戸内町内の避難所において、身分証明書を持っていない
場合は、受付にて情報を聞き取り、直接データ入力を行う。
従来方式より、紙への記載フローを無くした。

平常時も災害時も。カード1枚で便利・安心に。

瀬戸内町住民ID構想：一つのIDで暮らし全体をサポート

平常時の便利



公共交通・移動

バス・タクシー・船舶の
利用や割引適用がスムーズに。



施設・健康

病院・役場等の手続き。
健康推進やボランティアで
ポイント活用。

災害時の安心



避難所運営

受付・食事支給・入浴管理を
完全デジタル化。



救急・見守り

マイナ救急(持病連携)や
家族への安否通知。



マイナンバーカード
(瀬戸内町住民ID)

独自のアプリをマイナンバーカードの空き領域に搭載し、さまざまなサービスを実現します。

すべてを突破する。
TOPPAN!!!
TOPPAN



瀬戸内町

お問い合わせ

TOPPANエッジ株式会社

データマネジメント統括本部
DXビジネス本部 DX企画部 第二チーム
花田 孝之

✉ takayuki.hanada@toppan.co.jp

瀬戸内町役場

総務企画課 危機管理係
またはDX推進室

<https://www.town.setouchi.lg.jp/otofawase.html>